

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 宮城県気仙沼市立気仙沼中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒988-0073
宮城県気仙沼市笹が陣4-1

E-mail : kesenuma-jh@blue.ocn.ne.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 129名 女子 135名 合計 264名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

東日本大震災で甚大な被害を受けた気仙沼の復興に向けて、「10年後の気仙沼」をイメージさせ、それに向けて自分たち中学生ができることは何かを考えさせる。また、「防災教育」を柱として段階的に第1学年「自助」、第2学年「共助」、第3学年「公助」について学び、災害発生時に対応する力を養う。

防災教育を柱とした取り組みは今年3年目となる。本校独自の防災教育となるようカリキュラムの見直しを行い、体験的・活動的な内容を取り入れながら、実践的な防災教育を展開することができた。

本年度は、本校初となる避難所運営訓練を実施し、避難所を運営するという疑似体験を通して、災害時の非常事態に対処し、自他の生命を守るにはどのように行動したらよいかを気付かせ、人と協力することの大切さを感じさせることをねらいとした。

	1 学年	2 学年	3 学年
テーマ	災害に備えよう【自助】	命を守ろう【共助】	未来の気仙沼を考え、発信しよう【公助】
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップについて（東北大学講話） ・応急処置見学 ・グループ毎の活動 <ol style="list-style-type: none"> 1 防災グッズ 2 緊急時の連絡 3 避難の仕方 4 誘導標識 5 災害弱者 	<ul style="list-style-type: none"> ・応急処置の仕方 ・人工呼吸・AED（気仙沼消防署と連携） ・視覚・聴覚障害者体験 ・高齢者、車椅子体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行企業訪問 ・応急処置の仕方 ・人工呼吸・AED（気仙沼消防署と連携） ・避難所運営図上訓練（市危機管理課と連携）
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎の活動 ・中間発表会 ・防災マップ ・避難所運営訓練（避難者として参加） 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォトプロジェクト ・図上訓練 ・避難所運営班毎の活動 ・避難所運営訓練 ・防災学習まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・サバイバル飯 ・図上訓練 ・避難所運営班毎の活動 ・避難所運営訓練 ・防災学習まとめ
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行企業訪問計画 	

- ・フォトプロジェクト ニコンの支援を受け、復興をテーマにした写真集を作成。
- ・救命救急講習 消防署と連携し、心臓マッサージ、人工呼吸等の応急処置講習。
- ・避難所運営図上訓練 市の危機管理課と連携し、避難所運営のミニゲームの講習。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他 ()